



Life in harmony,
into the future

地球の未来が決まる

2010

Biodiversity is the
Diversity is our life

地域の具体的な取り組みで、生物多様性の理解を深める
生物多様性アクション大賞

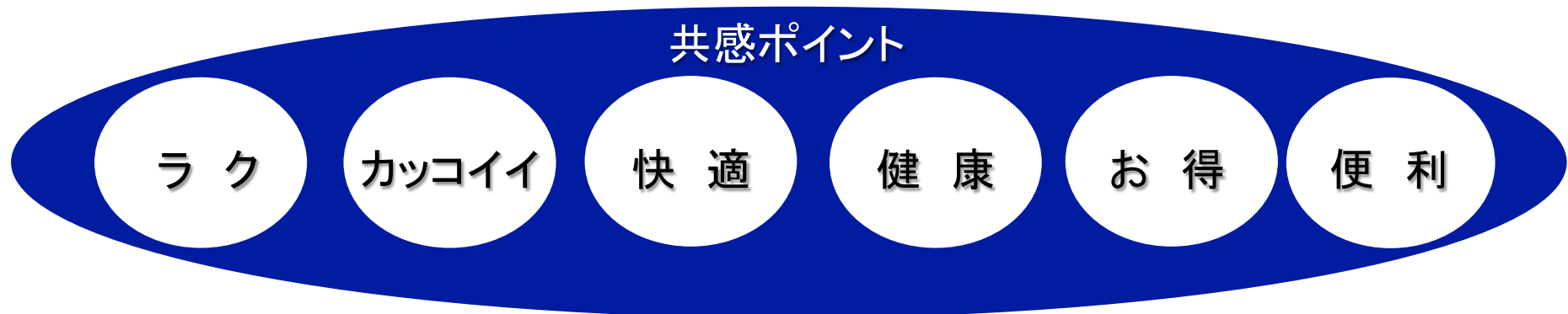
川延 昌弘
一般社団法人CEPAジャパン
2013.10.18

ムーブメントづくり

自分ごと化、行動化、可視化

大切なのは個人の価値転換

ターゲットを明確化し、
価値転換となる日常の「欲求行動」を「共感ポイント」として追求



環境にやさしいから〇〇をするのではなく、
「ラク」「カッコイイ」、、、、だから〇〇をしたら、
結果的に環境にもやさしかった

「仕組み」を支える「3つのステップ」として整理

①暮らしの視点での気づきや健全な危機意識を醸成する

全世界で続く気候変動による異常気象
衣食住に影響する自然資源の問題

⇒ 自分ごと化

②暮らしの導線からの具体的なアクションの提示

チーム・マイナス6%の「6つアクション」

フォレスト・サポーターズ「4つのアクション」

生物多様性MY行動宣言「5つのアクション」

⇒ 行動化

③継続するムーブメントのために

自分のCO2削減量を知ることで貢献

活動団体や個人宣言の登録数などによる浸透

⇒ 可視化






自分の体験を通じて「もっと身近に、生物多様性。」

COP10に向けて「もっと身近に、生物多様性。」を感じてもらうために制作したツール。

生物多様性を守るために、
私たちができること。

5 ACTIONS
!!!!!!

5 actions to save biodiversity.

-  旬の食材や、自分が住んでいる地域でとれたものを食べてみよう。
-  大人も子どもも、みんなで楽しく自然を体験してみよう。
-  あなた自身が、クリエイターになってみよう。
-  さまざまな活動に参加して、「きずな」を再発見してみよう。
-  生物多様性保全に貢献している商品を選んでみよう。

COP10後「一般社団法人CEPAジャパン」設立

もっと身近に、
生物多様性。

CEPA
JAPAN

WELCOME CEPA JAPAN

CEPA JAPAN
cepajapan

2011/10/04

2011/10/04

2011/10/01

Copyright(C)一般社団法人CEPAジャパン2011

BLOG | ニュース&イベント | サイトマップ | アクセス | 個人情報保護方針 | お問い合わせ

目的：
暮らしと国際条約をつなぐ

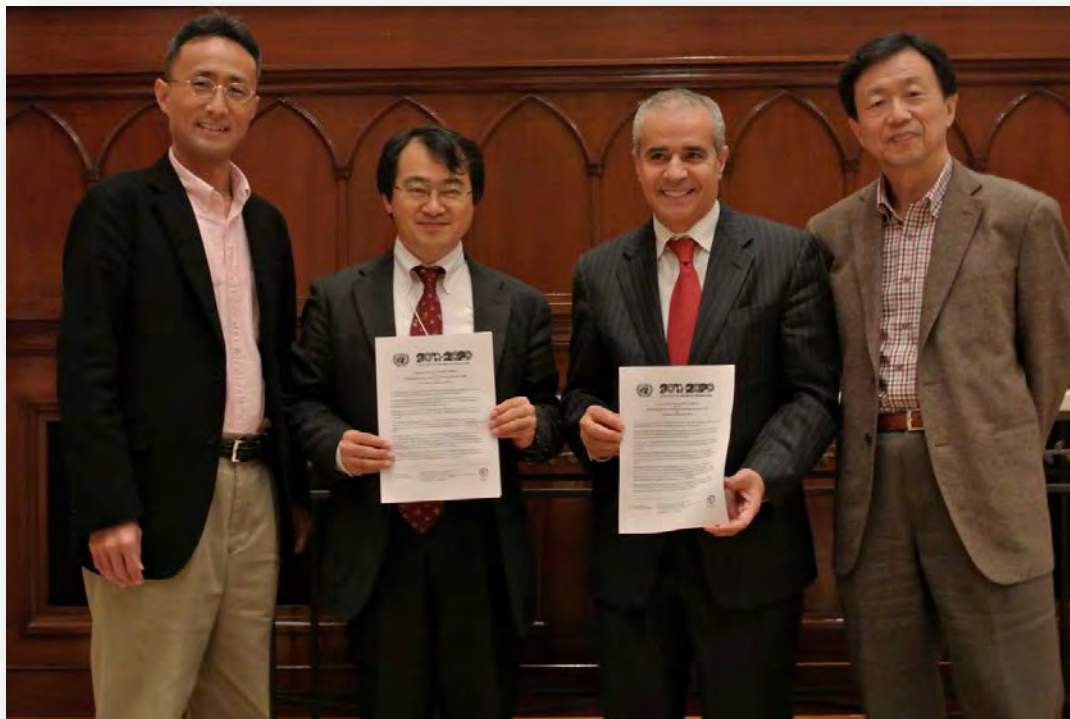
環境コミュニケーションの
国内スペシャリストが集う組織を設立

Green TV Japan
Think the Earth
地球サミット2012 Japan



自然観察指導員
環境教育指導者
自然学校指導者
動物園、水族館学芸員
有識者、学識経験者

生物多様性条約事務局と覚書(MOU)調印



COMMUNIQUÉ

Partnership forged between Japan Committee for the International Union for Conservation of Nature and the Secretariat of the Convention on Biological Diversity

Kanazawa, Japan, 20 December 2011— The Secretariat of the Convention on Biological Diversity (CBD) and the Japan Committee for the International Union for Conservation of Nature (IUCN) have signed a Memorandum of Understanding (MoU) with a view to promoting greater awareness amongst civil society organisations in Japan and abroad and join forces for the successful implementation of the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 and the Aichi Targets.

The MoU, which was signed in Kanazawa City, Japan, on 19 December 2011 at the margins of the official launch of the United Nations Decade on Biodiversity, was also endorsed by Communication, Education and Public Awareness Japan (CEPA Japan) and the Japan Civil Network for the United Nations Decade on Biodiversity (JCN-UNDB).

The agreement highlights the crucial role civil society plays in implementing the Nagoya Biodiversity Compact, and contributes to the success of the United Nations Decade on Biodiversity and the Aichi Targets. It also stresses the importance of working together with international partners in order to raise awareness of civil society and to better support conservation and biodiversity action at the local level. It must be noted that the very idea of a United Nations Decade on Biodiversity was generated by the Japan civil society.

Through the MoU, the signatories—Mr. Masahito Yoshida, Chair of IUCN, Mr. Ahmed Djoghlaif, Executive Secretary of the Convention on Biological Diversity, Mr. Masahiro Kawatei, Representative of CEPA Japan, and Mr. Susumu Takayama, Representative of JCN-UNDB—agreed to cooperate in several areas, including in the development and global dissemination of communication and outreach materials on biodiversity and in mobilizing the commitment of local government, private sector, youth, academia and civil society organizations through, *inter alia*, the *Niju-maru* project.

The *Niju-maru* project is a campaign led by, in close collaboration with other civil society organizations in Japan, which encourages commitment by Japan-based stakeholders to the achievement of the Aichi Biodiversity Targets.

“Commitment of all sectors is required in order to achieve Aichi Biodiversity Targets by 2020. I believe that the Memorandum of Understanding signed by the CBD Secretariat and Japan Committee for IUCN today will mobilize the participation of all sectors through outreach programme including the *Niju-maru* project and CEPA,” said Masahito Yoshida.

Ahmed Djoghlaif said: “The Japan Civil Network played a key role in supporting the designation by the United Nations General Assembly of 2011-2020 as the United Nations Decade on Biodiversity. By



Secretariat of the Convention on Biological Diversity
United Nations Environment Programme
413 Saint-Jacques Street, Suite 800, Montreal, QC, H2Y 1N9, Canada
Tel : +1 514 288 2220, Fax : +1 514 288 6588
secretariat@cbd.int www.cbd.int



Life in Harmony, 100 Years
1945-2015
UNO 70th Anniversary

生物多様性条約事務局から配信された公式声明(コミュニケ)。

愛知ターゲット達成に向けて「国連生物多様性の10年」活性化のため
国内の普及啓発活動を海外に情報発信

ESD meets CEPA

「国連生物多様性の10年とCEPA

～ESDの視点から～」をCOP10で開催

CBD事務局、IUCN-CECとアジアと国内の
ESD関係者によるディスカッションで共有

ESDとCEPAは同義語であり

わたしたち生活者が

自然資源の利用者であり管理者である事を
理解し行動するために

伝え、広め、学び合い、分かち合うもの

ESD-J「生物多様性しんぶん2011年冬号」より

MY行動宣言を改善して活きたツールへ、環境省へ提案

漠然とした提示で能動性を引き出すのではなく、
行動を提示してわかりやすく選択できる仕組み

地球のいのち、つないでいこう
生物多様性

生物多様性のために、できることから始めよう！
MY行動宣言

生物多様性とは、たくさんの生きものがつながりあって暮らしていること。
私たち人間の暮らしはたくさんの生きものから支えられています。
すべてのかけがえのないいのちを守り、その恵みを受け続けられるように、
今、行動をはじめましょう。

ふれよう まもろう つたえよう

まずは身近な自然や生きものにふれてみよう。 動物や植物など、生きものをまもるための活動に参加しよう。 生物多様性について周りの人と語りあい、伝えよう。

生物多様性のために、あなたが今日からできることを宣言してください！

わたしのMY行動宣言

年 月 日 ニックネーム

地球温暖化防止のために、
あなたは何かから始めますか？
あなたもエコ宣言して、
チーム・マイナス6%に参加してください。

私実践するアクションは

温度調節 で減らそう	28℃・20℃	世界の平均温度は28℃。 夏季時の室温は20℃にしよう
水道の使い方 で減らそう		蛇口はこまめにしめよう
自動車の使い方 で減らそう		「みんなりアクセス[e-スマート]」をしよう
商品の選び方 で減らそう		エコ製品を選んで買おう
買い物とごみ で減らそう		レジ袋を断ろう
電気の使い方 で減らそう		コンセントからこまめに抜こう

です!!

※上記のCO₂削減のためのアクションから、実施したいアクションを選んでチェックしてください。

●チーム員 No. 10296682

●ニックネーム
※必ずしもニックネームでの登録を強制しません。

●お住まいの都道府県 [都 ・ 道 ・ 府 ・ 県]

●性別 男 女

●年齢 10代未満 10代 20代 30代
 40代 50代 60代 70代以上

●チーム・マイナス6%から、地球温暖化防止に関する情報をE-MAILでお送りしてもよろしいですか？ はい いいえ

●メールアドレス

●チーム・マイナス6% TEAM PASS

あなたは地球温暖化防止活動を実践していく「チーム・マイナス6%」の立派なチーム員です。

チーム員 No. 10296682

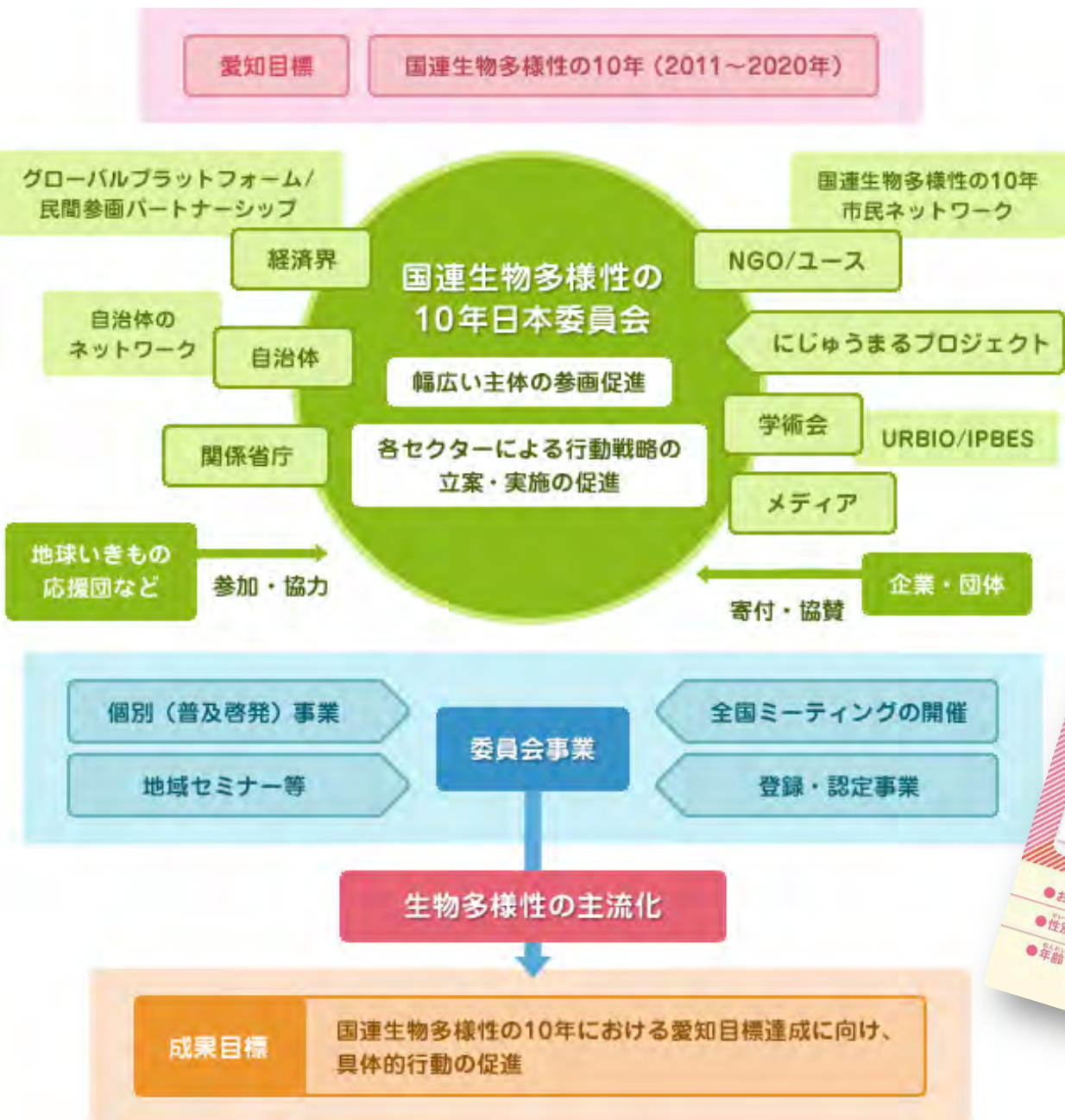
ニックネーム
※必ずしもニックネームでの登録を強制しません。

みんなが止めよう温暖化
チーム・マイナス6% www.team-6.jp

【みんなでエコトレ!】
チャレンジしてね!
http://team-6.jp/

「My行動宣言」を「暮らしの視点」からの5つのアクションで構成する！

「国連生物多様性の10年日本委員会」5つのアクションに！



「生物多様性国家戦略2012-2020」に提言し記載される

【普及広報と国民的参画(具体的施策)】

UNDB-Jにおいて、効果的なCEPA(Communication, Education & Public Awareness)活動を行っていくため、「地球いきもの応援団」、「MY行動宣言」、「グリーンウェイブ」、各種ツール・アイテム等の把握・評価・開発・活用(UNDB-J 推薦図書等)、広報誌の発行など、さまざまな主体への働きかけを実施。

【市民の役割】

一人ひとりが生物多様性との関わりを自分の生活の中でとらえることが求められる。例えば、旬のものを「味わう」、自然や生きものに「ふれる」、自然の素晴らしさを「伝える」、保全活動に「参加する」、環境配慮商品を「買う」といった、生物多様性を守るための「MY行動宣言5つのアクション」(国連生物多様性の10年日本委員会)を日常の暮らしの中で実行に移していくことが重要。

お墨付きとなった「5つのアクション」で目指すもの

愛知ターゲットの達成

(一人ひとりが「生物多様性」を理解し行動する)

「国連生物多様性の10年」で取り組む
生物多様性の「主流化」

生物多様性の「主流化」とは、
誰がどのような状態になることなのか？

「MY行動宣言5つのアクション」で、
政府、自治体、企業、市民が「気づき」の機会を提供する

郷土愛で推進される地域の具体的な取組みで理解を深め、
日常の暮らしの中で生物多様性を「自分ごと化」

「生物多様性アクション大賞」を創設！

つないでみよう！
あなたの活動と生物多様性。

たべよう

地元でとれたものを食べ、
旬のものを味わいます。

ふれよう

生の自然を体験し、
動物園・植物園などを訪ね、
自然や生きものにふれます。

つたえよう

自然の素晴らしさや
季節の移ろいを感じて、
写真や絵、文章などで伝えます。

まもろう

生き物や自然、人や文化との
「つながり」を守るため、
地域や全国の活動に参加します。

えらぼう

エコマークなどが付いた
環境に優しい商品を選
んで買います。

生物多様性アクション大賞

11月3日 日比谷コンベンション大ホールで授賞式典を開催！
全国から5つのアクションに基づく素敵な事例が沢山集まる仕組み！

「いきものぐらし」

いきものぐらし

生物多様性 5つのアクション

ムービーを見る MY行動宣言をする

English

このサイトについて 最新情報 リンク

ツイート 0 いいね! 472

大暑

2013.7.24 今日の二十四節気 07.23 - 08.06 大暑 七十二候 07.23 - 07.27 第34候 桐始めて花を結ぶ (きり、はじめてはなをむすぶ)

生物多様性 5つのアクション 詳しく知る →	たべよう 地元でとれたものを食べ 旬のものを味わいます	ふれよう 生の自然を体験し 動物園・植物園などを訪ね 自然や生きものに ふれます	つたえよう 自然の素晴らしさや 季節の移りいを感じて 写真や絵、文章などで 伝えます	まもろう 生き物や自然、人や文化 との「つながり」を守るため 地域や全国の活動に 参加します	えらぼう エコマークなどが 付いた環境に優しい 商品を選んで 買います
--------------------------------------	--	---	---	---	--

UNDB-Jで推進する「5つのアクション」を判りやすく伝えるため、親しみやすいイラストの二十四節気と今日の七十二候をカレンダーのように配し、そこに全国から集まるアクション事例を掲載していくポータルサイト。

「生物多様性アクション大賞」の応募フォームなど特設ページを開設し、最終選考に残った活動を、「5つのアクション」の事例として掲載するなど充実していきます。

私たちの暮らしに恵みを与え、私たちのいのちを支えてくれている、無数の生きものたちへの感謝の気持ちを込め、私たちも含めた生きもの同士が共生する持続可能な暮らしを「いきものぐらし」と呼びたい。